



古い校舎だけど、よく見ると「とってもきれい」 子ども達の手により、校舎が守られています！

第一中学校の校舎は、築60年と歴史があります。扉がガラス扉で開けるとガタガタ音がします。鍵に南京錠が使われている教室もあります。床板も経年劣化で黒ずんでいます。しかし、よく見ると無用の汚れは見当たりません。給食がこぼれてできたシミや上履きの汚れでついた跡もほとんど見受けられません。その理由は、生徒による「ていねいな清掃」です。

先日、図書室掃除を覗いてみると、清掃担当の1年生が、しゃがみ込んで金タワシやスポンジで床を一生涯懸命擦っていました。劣化で黒く変色した床板の掃除です。水をつけて擦っていると焦げ茶色の水が床に浮かんできます。擦っては浮き出た濁った水分を拭き取る。この作業を繰り返し行っています。「この体勢はつらい」「疲れた」と言いながらも、手を休めることはありません。その結果、黒ずんでいた床板が白くよみがえってきました。このような光景が、教室や廊下、階段など校内のいろいろな場所で見られます。

地味な活動に手を抜かず取り組んだり、一部の人でなくみんなで協力しながら取り組んだりすることは、とても素晴らしいと思います。このような取組ができる一中生をととても誇りに思います。



【図書室の床を掃除する1年生】

3年生が命を守るために 「心肺蘇生法」を学びました！

1月14日(水)群馬PUSH(現役の救急救命士)を招いて、胸骨圧迫とAEDの使用を体験しました。

日本では年間約6万人が心臓突然死で亡くなっています。講習の最初に、同年代が体育祭や部活中に突然倒れた映像を見た生徒達は、他人事は思わず真剣に実習に取り組んでいました。

倒れている人を助ける勇気を持つことを学び、命と救命について考える良い機会となりました。



【胸骨圧迫を行う3年生】

都道府県対抗男子駅伝 金子和樹さん 5位入賞に貢献！

1月18日(日)広島県で行われた都道府県対抗男子駅伝に2年の金子和樹さんが群馬の第2区を任せられ出場しました。

中継地点で、他の選手にもみくちゃんにされながらも第1区走者に大きく手を振り自分の位置を伝える姿や、第3区走者に必死にタスキを渡した後、ガッツポーズをする姿がNHKで生中継されました。

全国のトップ選手が集う中、群馬県勢として7年ぶりの入賞に大きく貢献した金子さんの走りでした。



【中継所に向かう金子和樹さん】